

平成九年度町表彰者決まる 五個人・二団体が受賞

平成九年度の町表彰者が油谷町表彰規定により十月二十一日（火）に決まり、十一月三日の体育祭の会場で表彰されます。今年度は個人五名と二団体が選ばれました。おめでとございます。

受賞者と功績

（順不同・敬称略）

【個人】

木村春雄（七十） 駅通

昭和五十四年に油谷町健康づくり推進委員に委嘱されて以来、町が実施する各種検診事業、健康相談、健康教育等に寄与され、町民に密着した総合的健康づくり、また町の地域医療向上に貢献をされています。

山城ミヨ子（七十二）川尻西

部員百六十名余りの川尻漁協婦人部長として婦人部をまとめ、川尻地区の一人暮らし老人への「愛の一声運動」や、高齢者参加による海浜清掃運動など高齢者の生きがい活動、支援体制づくり、ふれあい活動の推進に尽力されています。

また同婦人部は、平成八年に農林大臣から農山漁村高齢者

ふれあい活動の推進に尽力されています。

木下靖太郎（五十五）掛測

四十八年の永きに渡り漁業経営に携わり、昭和四十九年から、掛測漁協役員さらには昭和五十九年組合長理事に就任し漁業振興・組合員の指導に努める傍ら、平成八年から大津地区漁協合併推進協議会の副会長として合併推進に尽力されています。

辻永政子（五十五）小田

角山地区を中心とした「あかね会」のリーダーとして、昭和五十四年油谷町生活改善グループ連絡協議会の発足に尽力されました。以来副会長を歴任し、平成九年から会長に就任され、町のみならず長門大津管内の農村生活改善及び女性農業者として長期にわたる指導・推進活動を図られました。

岡田泰彦（三十五）掛測

昭和六十年「油谷卓球クラブ」を創立、選手として活躍する傍ら、同クラブに参加し

ている小中学生を指導し、その卓越した指導力で県内だけでなく県外でも輝かしい成績を収めるなど、本町スポーツ振興の発展に貢献されています。

【団体】

油谷町有害鳥獣駆除隊

昭和四十二年五月、野猪・ホンシユウジカ等による農林業作物被害を防止するため結成され、特に近年農林業従事者の高齢化が進み、有害鳥獣に対する自衛対策が困難な状況の中、駆除方法等の研究会を行うなど、本町の農林業生産に多大な貢献をしています。

油谷苺生産部

米の転作対応として、昭和五十五年油谷苺生産部を結成、苺のハウス栽培を開始、昭和六十三年には高付加価値を目指し「とよのか」大粒品種に転換するとともに、会員相互の協力及び栽培技術の研磨に努め、その品質は市場で高い評価を受けており、町の特産品としての位置づけを図りました。

教育委員会委員長に 森脇直春（杣地）さんを選任



平成九年九月三十日、任期満了にともない退職されました。

印鑑登録証が新しくなります 12月1日から交付開始

油谷町では、現在多様化する行政ニーズに対応するため事務の電算化を進めています。

その一環として窓口サービスの迅速化を図るため、平成九年十二月一日から、印鑑登録事務を電算化します。新しい印鑑登録証は磁気カードとなり、窓口での事務が大幅に簡略化されます。

新たな印鑑登録は今までどおり、役場本庁と両支所で行います。

●十二月から交換

現在交付している印鑑登録証は、十二月一日から新しい登録証と交換します。

た教育委員会委員長の末永武さんの後任として、新教育委員の森脇直春（62）さんが選任されました。

森脇直春さんは、文洋小・伊上小教諭、向津具小・油谷小教頭、川尻小・油谷小校長として勤務された経歴の方です。

新しい登録証は、旧登録証との交換となりますので、必ず今までの登録証を持参のうえ、早めに交換手続きをしてください。代理の場合は、委任状が必要です。

十二月一日から十二月二十六日までの一カ月間は、本庁地区で登録された方は、役場本庁で、宇津賀・向津具支所で登録された方は、それぞれ支所で交換交付します。

来年一月からは、役場本庁で管理しますので、交換は本庁のみで行います。なお、登録者の方には後日詳細を文書にて通知します。